



# 埋文だより

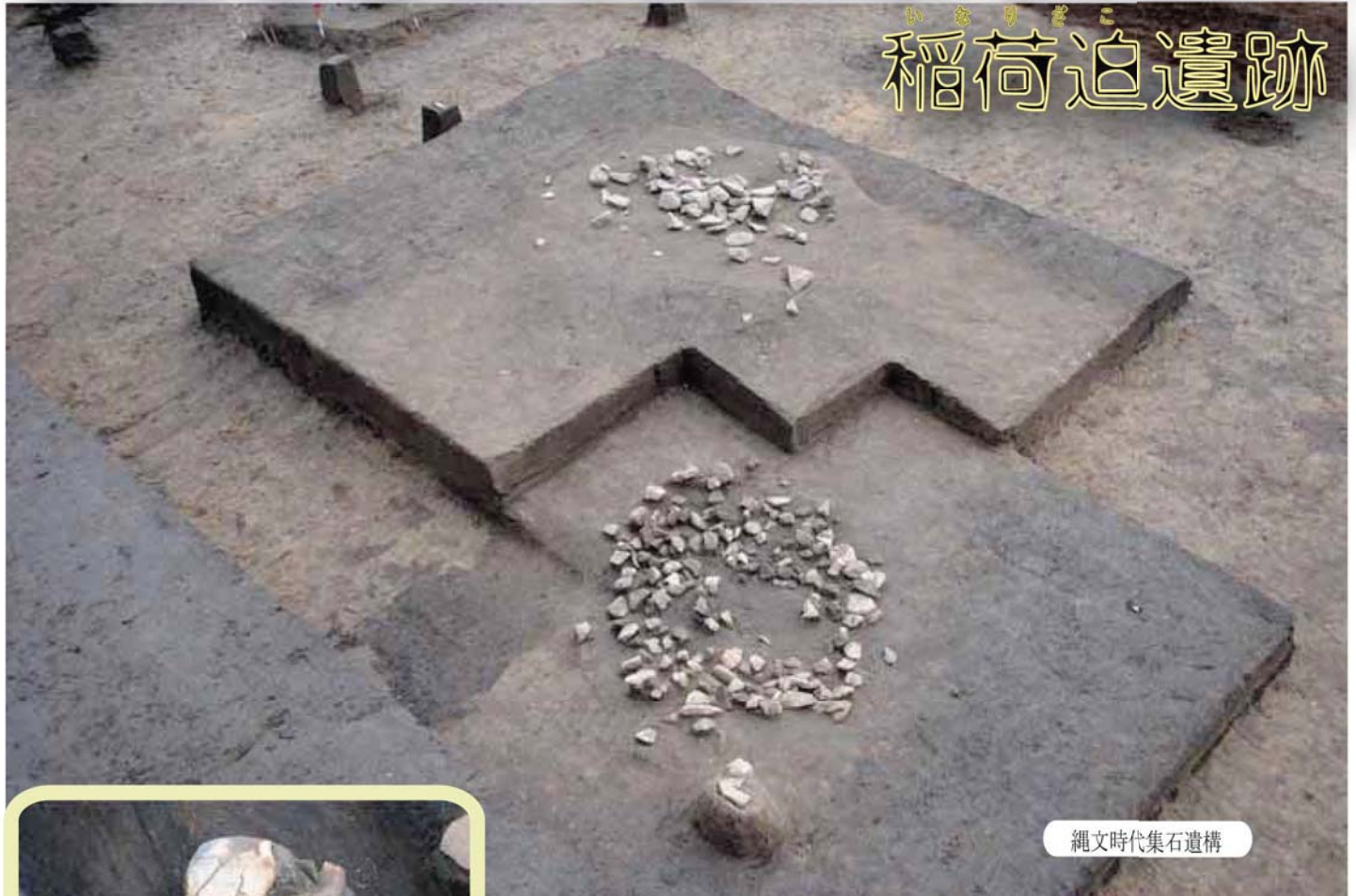
第52号

平成22年6月18日発行

じょうもん

## 歴史を秘めた縄文時代の台所

### 稲荷迫遺跡



縄文時代集石遺構



墓と考えられる土坑に供えられた土器

### 目次

- ・歴史を秘めた縄文時代の台所 ..... 1
- ・平成21年度 かのしまの遺跡 ..... 2, 3
- ・県指定文化財に新指定 第28回企画展など ... 4
- ・歴史にふれよう! 本物にふれよう! ..... 5
- ・平成22年度 発掘調査予定遺跡位置図 ..... 6

稲荷迫遺跡(志布志市)では、縄文時代早期(約10,000～6,300年前)の地層から、石蒸し(焼き)料理の施設と考えられる集石遺構64基と煙でいぶす調理法に用いられたと考えられる連穴土坑4基が発見されました。集石遺構は、重なり方や配列から同じ時期に使われていたのではなく、何世代かにわたって数基ずつ使われていたと考えられます。

また、弥生時代中期(約2,100～1,900年前)の墓と考えられる土坑と、供えられた土器が3点まとまって発見されました。

今年度も、引き続き発掘調査を進めていきます。

# 平成21年度 **かごしまの遺跡** 発掘調査・報告書情報

## よみがえる中世

～中郡遺跡群(出水市)～

調査期間  
5月～3月

中郡遺跡群の北半分は、島津氏初代忠久の居館跡と伝えられる木牟礼城屋形跡(屋地屋形跡)です。

平成21年度の調査では、「屋地屋形跡略図」(『野田町郷土史』)にある堀跡をはじめ、堅穴建物跡、掘立柱建物跡など中世の遺構が発見されました。



5号堅穴建物跡

遺跡からは青白磁龍首水注や白磁四耳壺、褐釉壺、黄褐釉盤など、有力者のみが所有したとされる希少な輸入陶磁器も見つかっており、島津氏の居館跡という地域の伝承と考え合わせると大変興味深い遺跡です。



青白磁龍首水注(注口部分)

## 弥生時代から古墳時代の営み～続報

～下鶴遺跡(伊佐市)～

調査期間  
5月～3月

下鶴遺跡は、川内川支流羽月川の右岸にあり、標高約171mの河岸段丘に位置します。川内川激甚災害対策特別緊急事業に伴って昨年度から発掘調査を進めています。特に、土坑と呼ばれる穴の中から発見された弥生時代(約2,200年前)の武器形青銅器の一種である銅戈は、南九州初の出土で大変注目されました。その後の調査で、周辺からは30基の同様の形をした土坑がまとめて見つかりました。そのうち数基の土坑では、底の縁に幅150cm、深さ10cmの浅い溝があぐっていました。これは、木の板を組み合わせて造った棺を置いた墓に特有のものです。また、土坑の並びに規則性がみられることから、土坑群は墓であるとする見方が強くなりました。



青銅器(銅戈)



土坑群



石砲丁(いしぼうちょう)

## ナゾ?謎の多い遺跡

～天神段遺跡(大崎町)～

調査期間  
5月～3月

天神段遺跡は、東九州自動車道建設に伴い、発掘調査が行われています。縄文時代早期前半の連穴土坑が発見され、土の焼け跡の下部を断ち割り調べてみると、シミ状に変色した部分があることがわかりました。志布志市有明町下掘遺跡でも同様の痕が残っており、関連も含めて何の跡か調査しています。また、高さ約40cmの手向山式と呼ばれる縄文時代早期後半の土器の中に約20cmの小型の土器が入っているのが発見されました。このような入れ子状態で出土する土器の発見例は少なく、どのような目的があったのか注目されます。



連穴土坑



入れ子状態で出土した土器

## 縄文時代早期の集落跡

～定塚遺跡(曾於市)～

報告書刊行  
22年3月

定塚遺跡では、縄文時代早期前半の集落跡が見つかりました。集落跡は少しずつ時期が異なっていますが、堅穴住居跡97基、集石遺構56基、連穴土坑を含む土坑271基が見つかり、大変大きな集落跡であったことが想定されます。また、上野原遺跡の堅穴住居跡から出土した土器よりも古い時期の前平式土器が、この集落跡では最も多く出土しています。



出土遺物

## 大隅の谷間に広がる畑跡

～狩俣遺跡(曾於市)～

報告書刊行  
22年3月

狩俣遺跡では、谷の斜面を利用した畑跡が発見されました。畝間の凹みは、1471年の桜島の大爆発で降り積もった噴出物(文明ボラ)で埋まっており、それ以後、耕作の痕跡は見られませんでした。このことから、火山災害のため、畑が放棄された状況がわかります。

なお、当時の栽培作物については、斜面の特性や畝たての状況からイネやマメなどの穀物類の可能性は低く、イモ類ではないかと考えられています。



畝状遺構

### 平成21年度 その他の発掘調査、報告書作成

発掘調査……中津野遺跡(南さつま市)、山崎野町跡(さつま町)、二渡船渡ノ上遺跡(さつま町)、虎居城跡(さつま町)、坂ノ下遺跡(薩摩川内市)、石碓遺跡・十三塚遺跡(鹿屋市)、川幅遺跡ほか(薩摩川内市)、上野畑遺跡ほか(阿久根市)、稲荷山遺跡ほか(鹿屋市)

報告書作成……宮ノ上遺跡(南九州市)、尾付野山遺跡・向井原遺跡(さつま町)、油免・本寺遺跡(南さつま市)、芝原遺跡(南さつま市)、渡畑遺跡(南さつま市)、上水流遺跡(南さつま市)、建山遺跡ほか(曾於市)、稲村遺跡(曾於市)、加治水掘遺跡ほか(大崎町)、柗城跡(いちき串木野市)

※詳細は、7月17日(土)からの企画展「かごしまの遺跡2010」で紹介いたします。

# 県文化財に新指定!

# どびらがまあと 堂平窯跡出土品

堂平窯跡は、日置市東市来町美山に所在する窯跡で、現在「古代川焼」と呼ばれる薩摩焼の古窯の一つです。薩摩焼は豊臣秀吉による朝鮮出兵の際(文禄・慶長の役1592~1598年)、島津義弘が連れて来た朝鮮人陶工によって始められたといわれてきました。この窯跡から出土した最も古い時期の陶片(I期:17世紀前半頃のもの)は、製作技術や器形など16世紀後半の朝鮮半島の甕や壺によく似ており、伝承を裏付けるものです。しかし、その後の陶片(II期:17世紀後半頃のもの)は、肥前(佐賀県)や薩摩藩内の他の窯(堅野冷水窯:鹿児島市、山元窯:始良市加治木町)等の影響を受けており、朝鮮の製陶技術の影響が薄くなっています。このように堂平窯跡の出土品からは、朝鮮半島の製陶技術が、次第に薩摩の風土に合ったものに変化していく過程がよくわかり、17世紀代における苗代川系の初期薩摩焼の様相を知る上で大変貴重な資料であることから、この4月に鹿児島県有形指定文化財に指定されました。



堂平窯跡出土品

## 第28回企画展

### 「新発見!かごしまの遺跡2010」 ~県立埋蔵文化財センター発掘速報展~

期間 7月17日(土)~11月28日(日)  
場所 上野原縄文の森 展示館

平成21年度に発掘調査した遺跡、報告書を刊行した遺跡の中から選りすぐりの出土品を紹介します。

#### 紹介する遺跡

発掘調査 中郡遺跡群、稲荷遺跡、下鶴遺跡、天神段遺跡

報告書刊行 定塚遺跡、宮ノ上遺跡、尾付野山遺跡、向井原遺跡、上水流遺跡、芝原遺跡、渡畑遺跡、柘城跡、狩俣遺跡

#### 企画展講演会

期日 7月17日(土)、8月7日(土)、10月30日(土) 13:30~15:00

場所 縄文の森展示館1階多目的ルーム  
講師 県立埋蔵文化財センター専門職員  
発掘調査の成果を、調査担当者がわかりやすく解説します。



## 考古学講座「南九州の縄文に学ぶ」

縄文時代や上野原遺跡に関する考古学講座を上野原縄文の森で年5回毎年開催しています。先月第1回「縄文時代の幕開け」というテーマで、当センターの文化財専門職員が旧石器時代の終末から縄文時代の幕開けについて解説があり、多数の参加者から好評を得ました。

今後の予定

第2回 7月3日(土)、

第3回 9月4日(土)、

第4回 11月(未定)、

第5回 2月5日(土) 各回とも 13:30~15:00



第1回考古学講座

## 縄文の森「100万人突破」!

上野原縄文の森の入園者が5月14日、100万人を突破し、記念のセレモニーがありました。縄文の森は「縄文時代の世界と向き合い、ふれあい、学び親しみ場」をモットーにさまざまなイベントや展示活動を行ってきました。

今後も、多彩な展示や体験活動を行い、多くの県民の皆様のご来園をお待ちしています。

# 歴史にふれよう! 本物にふれよう!

## あなたの学校に「本物」がやってきます!

### 本物にふれる 一埋蔵文化財学習支援教材一貸出事業

普段の授業や郷土教育への取組を支援するため、教室の中で本物の土器や石器などにふれることができる、実物資料の貸出事業を実施します。学びの場をより豊かにする一助としてご活用ください。



縄文時代の土器にふれる

◎対象: 県内の希望する学校

◎貸出教材: 土器(縄文時代、弥生時代)、石器(石斧、石鏃)など

例: 「縄文土器の文様を比べよう」 隆帯文、貝殻文、沈線文、押型文など

「薩摩焼の歴史」 堂平窯などの出土遺物

### まいびん出前授業



社会科の出前授業

本物の土器や石器など地域の素材・実物資料を活用した教育活動への支援を行い、郷土教育の取組を推進するために、出張講座を実施します。

授業支援、講演、火おこしなど昔の人の知恵や工夫を存分に体感できる体験活動を行います。

◎対象: 県内の希望する学校、PTA活動、公民館講座等

◎申込み先: 県立埋蔵文化財センター 電話 0995-48-5811

詳細は、当センターホームページをご覧ください。

## あなたも受講してみませんか かごしま県民大学連携講座「鹿児島島の遺跡に学ぶ」

私たち鹿児島の大昔の人々は、どんなくらしをしていたのでしょうか。これまでの調査をもとに、鹿児島島の先人たちの生活を分かりやすく紹介します。

◎第1回 おまかせ!夏休み自由研究「かごしまの大昔」

7月27日(火) 13:00~15:00

土器や石器にふれながら、昔の人々のくらしを解説します。

また、夏休みの自由研究のテーマやアイデアを紹介します。

対象: 小学校(5年生以上)・中学生 35名

◎第2回 「火山と遺跡~自然とともに生きた南九州の人びと~」

10月22日(金) 19:00~20:30 対象: 一般 35名

◎第3回 「9,500年前のムラに生きた人びと」

2月26日(土) 13:30~15:00 対象: 一般 50名

会場: かごしま県民交流センター

申込み先: 鹿児島県上野原縄文の森 電話 0995-48-5701

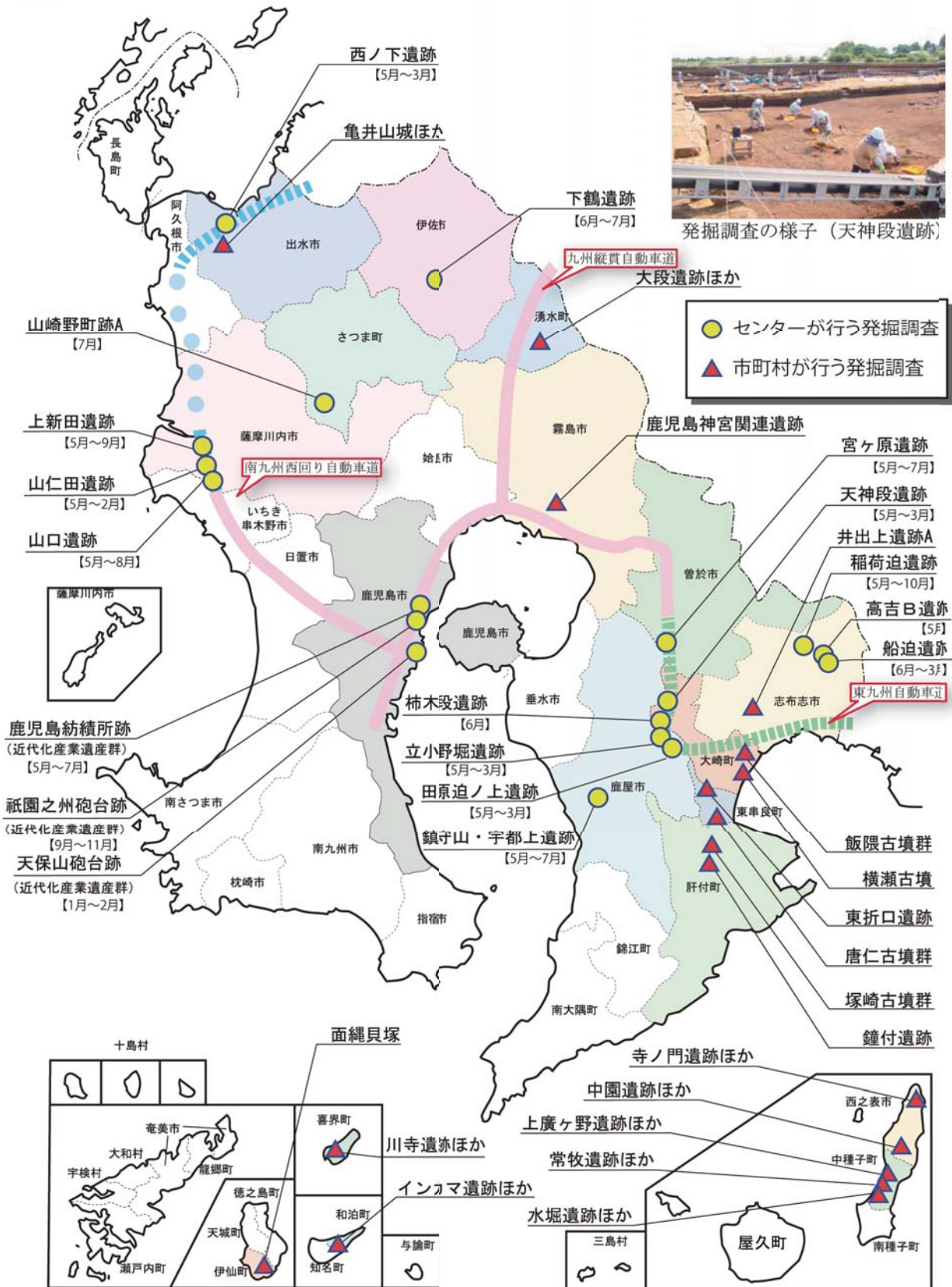


上野原遺跡の出土品  
(重要文化財)



のぞいてみよう 発掘現場!

# 平成22年度 発掘調査予定遺跡位置図



発掘調査の様子 (天神段遺跡)

※遺跡名【 】内は、調査予定期間です。行かれる際は、センターに確認してください。

埋文だより 第52号

発行日 平成22年6月18日  
 編集・発行 鹿兒島県立埋蔵文化センター  
 〒899-4318 鹿兒島県霧島市  
 国分上野原縄文の森2番1号  
 TEL 0995-48-5811・FAX 0995-48-5820  
 URL: <http://www.jomon-no-mori.jp>  
 E-mail: [maibun@jomon-no-mori.jp](mailto:maibun@jomon-no-mori.jp)

当センターの見学は、土曜・日曜・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時~午後5時まで、入館料は無料です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。  
 なお、当センターのホームページは、鹿兒島県教育委員会 (<http://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku/>) または、上野原縄文の森 (<http://www.jomon-no-mori.jp>) からお入りください。